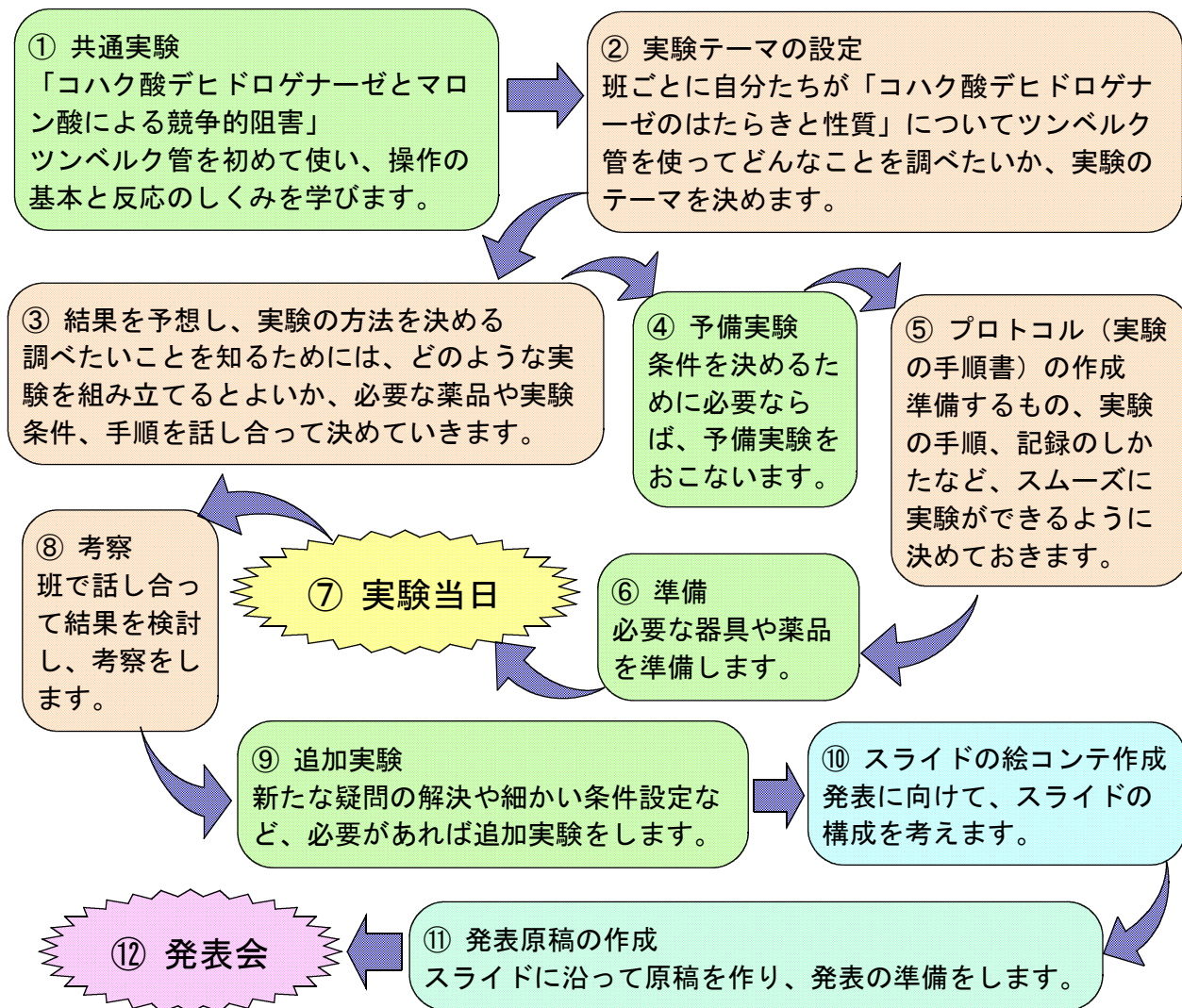


## 探究活動 「コハク酸デヒドロゲナーゼの性質とはたらき」

「探究活動」というのは、自分たちでテーマを見つけ、実験方法を考えて、実験をおこない、その結果から言えることを考察していく活動です。この探究活動は、代謝分野の学習をしている3年生理系「生物Ⅱ」選択者を対象に行っているものです。



毎回、オーソドックスな実験テーマから、ユニークなものまで、テーマもいろいろと上がり、疑問を何とか実験の形にしようと主体的に取り組む者、考察に苦しみながら追加実験を重ねる者、たった数本のツンベルク管でこんなにもいろいろなことにチャレンジできるのか、と、教師側も楽しませてもらっています。

取り組む中で、知りたいことを明確に持つて計画しないと実験は成立しないこと、条件をそろえることの意味、始めてしまっからあわててもうまくいかず、準備段階がなにより大切であること、ピペット操作などの正確さ、温度管理、班員での分担のしかたなど、実験結果に影響するいろいろな要素があること、といった、実験が成り立つために必要なことは何かを身をもって学んでいく体験になっているようです。さらに、グラフを用いたり、データを計算で補正したりしながら、実験結果を処理する方法や、はじめは安易に「予想どおり〇〇だった」「うまくいった」など書いている者も、実験結果から何が言えるのか、あるいは言えないのか、期待していたことが言えないのはなぜか、もっと知るためには条件をどうしたらよいか、など、考察を深めていく過程でたくさんのかを学んでいきます。

取り組みを終えたとき、みな、思い入れのある忘れられない実験のひとつになるようです。